

伝統遊具づくり やじろべえ

「やじろべえ」は江戸時代から多くの人に親しまれ、現在でもバランスの科学教材として広く利用されている玩具です。この由来は享保年間ごろ(約300年前)、江戸時代の役者と次郎が舞台上(やじろべえの姿の)人形を笠の上で舞わしたのがはじめと伝えられています。のちにこの人形は弥次郎兵衛(やじろべえ)と呼ばれるようになりました。

こどもに親しまれる玩具で、作りやすく、材料もどこにでもあり、しかも面白いと三拍子そろった伝統遊具です。

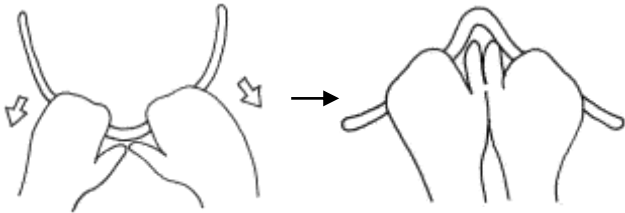
材料：針金 (約35cm)・紙ねんど・折り紙

道具：セロハンテープ・ラジオペンチ・サインペン

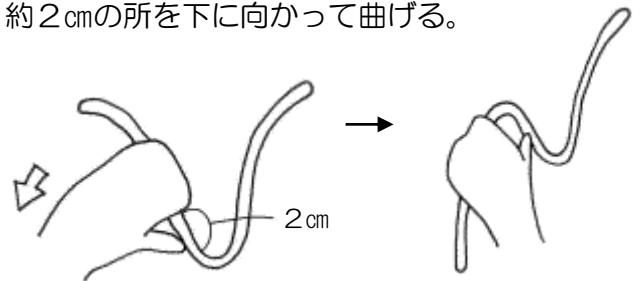
※長さ等は目安です。

《作り方》

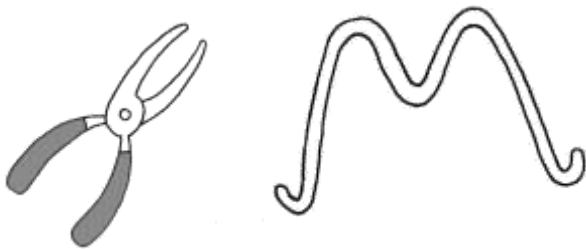
1. 針金の中心に両親指をあてて、下に向かってまげる。



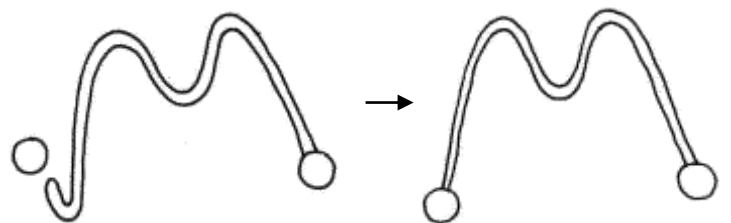
2. 上下をひっくり返し、曲げた中心から約2cmの所を下に向かって曲げる。



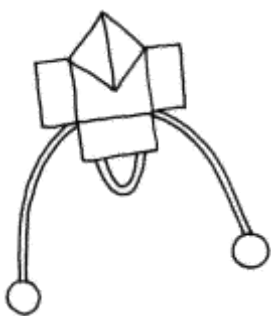
3. 針金の両端に紙ねんどをつけるために、ラジオペンチで上に向かって曲げる。



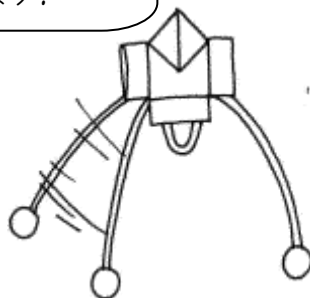
4. 紙ねんどを同じ重さに2個作り、針金の先に付ける。



5. 針金の中央にやっこさんをセロハンテープで貼り付ける。



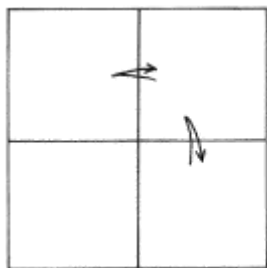
☆バランスがとれなければ、針金を広げたり閉じたりしてみましょう!



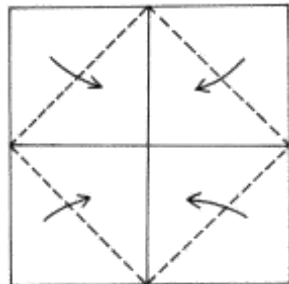
《遊び方》

全体のバランスをとって、指の先や机の角などのいろいろな場所に乗せて遊んでみましょう。

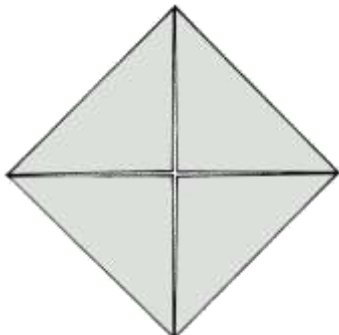
1. 四つに折って折り目をつけてもとに戻す。



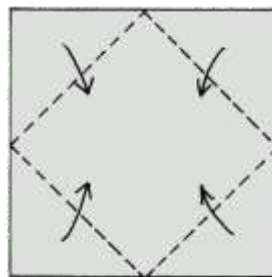
2. 四つの角を折り目に合わせて内側へ折る。



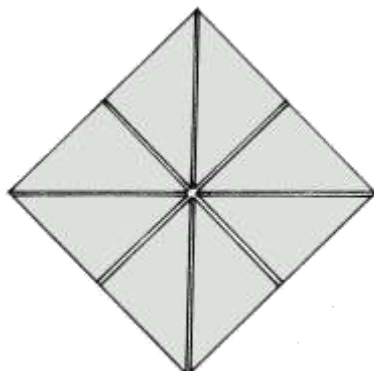
3. 2を折った形。裏返す。



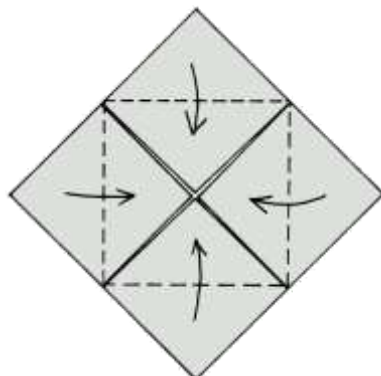
4. 四つの角を中心に合わせて内側に折る。



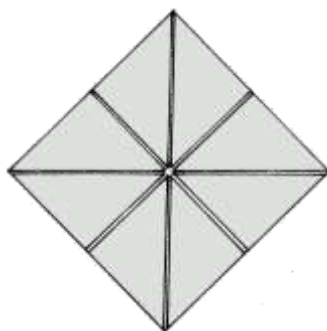
5. 4を折った形。裏返す。



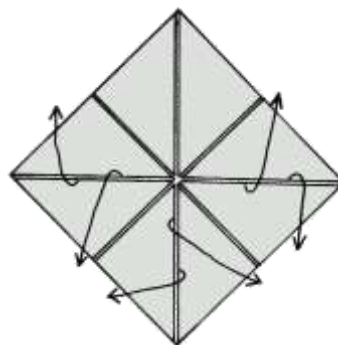
6. 4と同じように四つ角を折る。



7. 6を折った形。裏返す。



8. やじるしのように開いて長方形に折りたたむ。



9. やっこさんの出来上がり！
顔を描きましょう。

